

## 三菱自動車『アウトランダー』がPHEV カテゴリーで2022年度上期の国内販売No.1を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）のクロスオーバーSUV『アウトランダー』プラグインハイブリッドEV（以下、PHEV）モデルが2022年度上期の国内販売台数で10,749台<sup>\*1</sup>となり、PHEV カテゴリーで第1位<sup>\*2</sup>を獲得しました。また、クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』のPHEVモデルも2,430台でPHEV カテゴリーの第2位を獲得。両車合計で13,179台となり、三菱自動車は国内PHEV カテゴリーの約65%を占め、トップとなりました。

\*1：2021年12月発売の現行モデルと先代モデルの合算

\*2：2022年4月～9月、一般社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ



アウトランダー

### <2022年度上期販売実績>

モデル	販売台数
アウトランダー（PHEVモデル）	10,749台 <sup>*1</sup>
エクリプス クロス（PHEVモデル）	2,430台
2022年度上期 PHEV 販売台数合計	13,179台

『アウトランダー』のPHEVモデルは、三菱自動車の電動化技術と四輪制御技術の粋を集めたフラッグシップモデルです。昨年12月に日本で発売し、「威風堂堂」をコンセプトとした力強いエクステリアデザイン、3列7人乗りの採用による使い勝手の良さ、ツインモーター4WDによる力強く滑らかな走りなど、お客様から好評をいただいています。本年、ニュージーランド、オーストラリアでPHEVモデルの販売を開始し、今後北米でも11月に発売予定です。

2022年4月～9月の販売内容は以下のとおり。

<グレード別構成比>

グレード		構成比
P	7人乗り	81%
G	7人乗り	4%
	5人乗り	14%
M	5人乗り	1%

<主要ボディカラー構成比>  
(ボディカラー構成：全10色)

カラー	構成比
ホワイトダイヤモンド <sup>*3</sup>	43%
ホワイトダイヤモンド/ブラックマイカ(2トーン) <sup>*3</sup>	18%
ブラックダイヤモンド <sup>*3</sup>	11%

\*3：有料色

三菱自動車は1964年から電動車の研究開発を開始し、2009年に世界初の量産電気自動車『アイ・ミーブ』を発売しました。2013年には世界初のSUVタイプのPHEVとして『アウトランダーPHEV』を世に送り出し、2020年には『エクリプス クロス』のPHEVモデルを追加。『アウトランダーPHEV』は世界60カ国以上で累計約31万台を販売し、PHEVカテゴリーをリードしてきました。さらに本年6月には『eKクロスEV』を投入、11月には軽商用EV『ミニキャブ・ミーブ』の販売を再開するなど、今後も電動化技術の活用を通じ、気候変動・エネルギー問題の解決や、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以 上